

平成23年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年4月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社PLANT

コード番号 7646 URL <http://www.plant-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三ツ田 勝規

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 松田 恭和

TEL 0776-72-0300

四半期報告書提出予定日 平成23年5月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第2四半期の業績(平成22年9月21日～平成23年3月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年9月期第2四半期 | 40,978 | 0.5 | 1,476 | 49.8 | 1,447 | 56.4 | △716 | — |
| 22年9月期第2四半期 | 40,757 | △4.3 | 985 | 102.4 | 925 | 224.1 | 533 | 224.4 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年9月期第2四半期 | △105.74 | — |
| 22年9月期第2四半期 | 78.63 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|--------|---|-------|------|--------|---|----------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年9月期第2四半期 | 35,174 | — | 6,796 | 19.3 | — | — | 1,002.45 | — |
| 22年9月期 | 35,902 | — | 7,615 | 21.2 | — | — | 1,123.30 | — |

(参考) 自己資本 23年9月期第2四半期 6,796百万円 22年9月期 7,615百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年9月期 | — | 0.00 | — | 15.00 | 15.00 |
| 23年9月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 23年9月期 (予想) | — | — | — | 15.00 | 15.00 |

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年9月期の業績予想(平成22年9月21日～平成23年9月20日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 82,000 | △1.8 | 2,600 | 23.2 | 2,500 | 24.8 | △200 | — | △29.50 |

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 23年9月期2Q | 6,780,000株 | 22年9月期 | 6,780,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年9月期2Q | 74株 | 22年9月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 23年9月期2Q | 6,779,938株 | 22年9月期2Q | 6,780,000株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績の予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ1. 当四半期の業績等に関する定性情報(3)業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 7 |
| (5) セグメント情報 | 7 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 7 |

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調な外需と政府の経済対策の効果などを背景に、景気が持ち直していくことが期待されましたが、円高による輸出環境の悪化、雇用環境及び所得水準が低迷するなど、本格的な回復には至っておらず、好転の兆しが見えない状況にあります。当社が依存している個人消費につきましても、実質所得の減少に伴う消費者の節約意識は根強く、低価格競争が引続き加速する結果となりました。

このような環境の中、当社では、前期に引続き順次店舗の改装を行い、「快適性」「安全性」「商品の見つけ易さ」など、お客様にスムーズなお買物をご提供できる環境を整えてまいりました。また、12月より、当社創立30周年に伴う記念セールを全店で実施しており、特別価格での商品提供により、さらに多くのお客様に喜ばれる店舗造りに努めております。

その中、平成23年3月11日に発生いたしました東北地方太平洋沖地震及び福島第一原発事故により、当社「PLANT-5大玉店」(福島県安達郡大玉村)および「PLANT-4大熊店」(福島県双葉郡大熊町)が被害を受けました。そのうち、「PLANT-5大玉店」は、地震による店舗施設への影響はさほど無かったものの、一部商品の毀損を余儀なくされました。なお同店は翌日には店舗外にて、14日からは店舗内での営業を再開しております。

一方福島第一原発の事故により避難指示を受けている地域(平成23年4月22日より警戒区域に変更)に出店している「PLANT-4大熊店」については、地震の影響による商品及び店舗設備等への重要な被害は発生しておりませんが、避難指示解除の時期及び営業再開の目処がたっておりません。

これらの結果、当第2四半期累計期間におきましては、30周年記念セールが好調であったこと及び今回の震災で当社の経営理念である地域住民の『生活の拠り所となる店』として、低価格・豊富な品揃えが多くのお客様から支持されたことにより売上高は40,978百万円と前年同四半期比0.5%の増加となりました。

また利益におきましても、従来から取り組んでまいりました「在庫管理」「値入向上とロスの削減」「生鮮管理システム」の稼働により、利益率の改善が図れました。また人時生産性を意識した人事管理が定着したことにより作業効率の向上が実現し、営業利益では1,476百万円(前年同四半期比49.8%増)、経常利益は1,447百万円(前年同四半期比56.4%増)となりました。

また、上記震災による特別損失として、原発事故損失1,800百万円、震災損失13百万円を計上いたしました。その結果、四半期純損失は716百万円(前年同四半期は四半期純利益533百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ727百万円減少し、35,174百万円となりました。これは主に、原発事故損失、震災損失及び在庫削減により商品が425百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ91百万円増加し、28,378百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が361百万円、災害損失引当金が646百万円、未払法人税等が326百万円及び借入金が929百万円減少した一方、資産除去債務が2,479百万円増加したとによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ819百万円減少し、6,796百万円となりました。これは主に、当第2四半期累計純損失716百万円となり、配当金の支払額が101百万円となったことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度末に比べ400百万円減少し、4,451百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果獲得した資金は716百万円(前年同四半期は639百万円の使用)となりました。これは主に、税引前四半期純損失1,132百万円があった一方、原発事故損失1,800百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は82百万円(前年同四半期は173百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出1,850百万円、定期預金の払戻による収入1,800百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は1,034百万円(前年同四半期は1,474百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出929百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

上記予想は本資料発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを使用しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、営業利益、経常利益は53百万円減少し、税引前四半期純損失は797百万円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は2,389百万円(うち、災害損失引当金からの振替額は646百万円)であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

| | 当第2四半期会計期間末 (平成23年3月20日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年9月20日) |
|---------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,101 | 6,451 |
| 売掛金 | 264 | 220 |
| 商品 | 6,220 | 6,646 |
| その他 | 336 | 685 |
| 流動資産合計 | 12,923 | 14,004 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 9,589 | 9,968 |
| 土地 | 5,359 | 5,359 |
| その他(純額) | 1,177 | 1,463 |
| 有形固定資産合計 | 16,125 | 16,791 |
| 無形固定資産 | 1,186 | 1,350 |
| 投資その他の資産 | 4,938 | 3,755 |
| 固定資産合計 | 22,251 | 21,897 |
| 資産合計 | 35,174 | 35,902 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,389 | 6,750 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,723 | 1,863 |
| 未払法人税等 | 507 | 834 |
| 賞与引当金 | 259 | 391 |
| 災害損失引当金 | — | 646 |
| その他 | 1,166 | 1,298 |
| 流動負債合計 | 10,045 | 11,785 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 14,027 | 14,816 |
| 退職給付引当金 | 675 | 611 |
| 資産除去債務 | 2,479 | — |
| その他 | 1,150 | 1,072 |
| 固定負債合計 | 18,332 | 16,500 |
| 負債合計 | 28,378 | 28,286 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,029 | 1,029 |
| 資本剰余金 | 1,188 | 1,188 |
| 利益剰余金 | 4,580 | 5,398 |
| 自己株式 | △0 | — |
| 株主資本合計 | 6,798 | 7,616 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1 | △0 |
| 評価・換算差額等合計 | △1 | △0 |
| 純資産合計 | 6,796 | 7,615 |
| 負債純資産合計 | 35,174 | 35,902 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成21年9月21日 至平成22年3月20日) | 当第2四半期累計期間 (自平成22年9月21日 至平成23年3月20日) |
|-------------------------|--|--|
| 売上高 | 40,757 | 40,978 |
| 売上原価 | 32,619 | 32,556 |
| 売上総利益 | 8,137 | 8,421 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,151 | 6,944 |
| 営業利益 | 985 | 1,476 |
| 営業外収益 | | |
| 受取手数料 | 50 | 50 |
| 受取保険金 | — | 26 |
| 助成金収入 | 25 | 29 |
| その他 | 46 | 18 |
| 営業外収益合計 | 123 | 125 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 158 | 129 |
| その他 | 24 | 25 |
| 営業外費用合計 | 183 | 155 |
| 経常利益 | 925 | 1,447 |
| 特別利益 | | |
| 保険料返戻金 | 45 | — |
| 特別利益合計 | 45 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 原発事故損失 | — | 1,800 |
| 震災損失 | — | 13 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 766 |
| 特別損失合計 | 0 | 2,579 |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△) | 971 | △1,132 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 450 | 483 |
| 法人税等調整額 | △12 | △898 |
| 法人税等合計 | 438 | △415 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 533 | △716 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成21年9月21日 至平成22年3月20日) | 当第2四半期累計期間 (自平成22年9月21日 至平成23年3月20日) |
|-----------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△) | 971 | △1,132 |
| 減価償却費 | 680 | 636 |
| 長期前払費用償却額 | 67 | 50 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △116 | △131 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 30 | 64 |
| 受取利息及び受取配当金 | △7 | △7 |
| 支払利息 | 158 | 129 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 12 | △43 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 168 | 14 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △1,342 | △361 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △423 | △0 |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 766 |
| 原発事故損失 | — | 1,800 |
| 震災損失 | — | 13 |
| その他 | △101 | △149 |
| 小計 | 97 | 1,648 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3 | 2 |
| 利息の支払額 | △166 | △136 |
| 法人税等の支払額 | △574 | △797 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △639 | 716 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,400 | △1,850 |
| 定期預金の払戻による収入 | 1,200 | 1,800 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △5 | △24 |
| その他 | 31 | △7 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △173 | △82 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,405 | △929 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △0 |
| 配当金の支払額 | △67 | △101 |
| その他 | △2 | △3 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,474 | △1,034 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △2,288 | △400 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,718 | 4,851 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,429 | 4,451 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、小売業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。